



とうふう

# 藤楓いはらき

No. 69

2024/8/1

編集・発行：茨城県藤楓協会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6（茨城県保健医療部疾病対策課内）電話 029-301-3220



水戸市 千波湖

## ハンセン病への御理解と温かい御支援をお願いいたします



茨城県藤楓協会会長  
茨城県知事 大井川 和彦

茨城県藤楓協会は、県民の皆様へ御理解・御支援をいただきながら、療養所に入所されている本県出身の方々への支援や、ハンセン病に関する正しい知識の普及などに取り組んでおります。

ハンセン病をめぐるまじは、平成8年に「らい予防法」が廃止されるまで、法に基づく国の隔離政策や、病気への誤解から生じた偏見・差別により、多くの患者とその御家族が社会から疎外され、大変な苦難を受けておられました。

県におきましては、療養所に入所されているの方々をはじめとする関係各位の筆舌に尽くしがたい御苦勞の歴史を後世に伝え、誤った知識や見解を理由とした偏見・差別の解消につながるよう、県内全図書館及び市町村人権担当窓口への本紙の設置に加え、ハンセン病についての理解を深めるための研修会やパネル展を実施するなど、啓発活動に取り組んでおります。

また、入所されているの方々に対し、本県の特産品を贈呈するとともに、昨年度からは、コロナ禍で中止を余儀なくされていた療養所への慰問を再開するなど、支援活動に務めております。

こうした中、コロナ禍において、誤った情報などから患者やその家族、治療にあたった医療従事者に対するいわれのない差別が社会問題となり、今般改訂された「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」では、感染症危機における偽・誤情報の拡散や偏見・差別等を防ぐためのリスクコミュニケーション体制の整備が新たに盛り込まれるなど、偏見や差別のない社会の重要性が再確認されたところです。

県といたしましては、偏見や差別のない社会を目指し、啓発活動を一層推進するとともに、入所されているの方々への支援活動に取り組んでまいりますので、県民の皆様におかれましては、引き続き、御理解と温かい御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 療養所だより

## 97.3歳の遺言状

国立療養所多磨全生園 茨城県人会 平沢 保治

1941年（昭和16）14歳「注射はちょっと痛いけど治療をすれば治る」という言葉を信じ、当時の多磨全生園に入院致しました。

最初にびっくりしたのは、園から外へは一步も出られず高い垣根が覆い被さり、子供でも所内の約束を破れば牢屋に繋がれてしまいます。

戦中戦後、衣食住に困り食べ物はサツマイモやジャガイモが主食の時代が何年も続きました。社会復帰を諦め昭和25年所内で結婚しました。結婚の条件としては、優生保護法によって、子供を持つことは許されず私は断種手術を受けさせられました。

当時は「らい病」と言われ、昭和28年せめて「らい菌」を発見したノルウェーのハンセン博士の名を取った病名にしてほしいと立ち上がりましたが認められず、また新しい治る治療薬の事も認めようとしなかったのです。

私は、そういう中でハンセン病の患者運動に身を置き「ハンセン病は治る病気だ！治ったものは外に出すように」と訴えてきました。で以来入所者自治会の会長や東村山市障害者団体の役員を続け1970年頃から「ハンセン病の歴史を残す資料館を作ろう！11万平米の土地に木を植えて緑の森を残そう」と活動を始めました。

2 入院した当時、1300人近い入所者も今では92名（男36名・女56名）茨城県人会昭和26年結成当時、会員数60数名が今では4名（男2名・女2名）となっていました。

茨城県は歴代の知事さんを始め、地域女性団体、各市町村の皆さんが正しく理解し、里帰り運動や慰問・啓発活動にも力を入れ続けて下さっており大変感謝しております。

私も今月で97.3歳になります。5年前70年近く連れ添った妻に癌で先立たれショックでうつ病と認知症に罹り、今では寝たきり、車椅子の生活になってしまいました。

ここ4年程コロナの為に園内外の出入りや私達の催し物の制約を受けましたが、今年になってカラオケ・コーラス等の催しが職員の温かい御協力で開催できました。

終わりに、重ねて知事さんを始め・藤楓協会・200万人余りの県民の皆さんに感謝とお礼の言葉を申し上げ締めくくりと致します。



## CONTENTS

・会長挨拶	1	・協会活動のご案内	5
・療養所だより	2	・令和5年度 募金協力者名簿	6
・令和5年度 研修会・参加者の声	3	・ハンセン病について	8
・令和5年度 茨城県藤楓協会事業のあらまし	4	・ハンセン病募金のご案内	8

令和6年8月1日発行

# ハンセン病を考える研修会について

- 日時 令和5年8月25日（金）13：00～16：00  
 ○場所 国立ハンセン病資料館（東京都東村山市青葉町4-1-13）  
 ○出席者 藤楓協会事務局 市町村職員 教員 県職員他20名  
 〈内容〉

オリエンテーション、ガイダンス映像、平沢保治さんの語り部映像、講話、納骨堂献花（希望者）

## 〈研修会の様子〉

コロナの影響で延期になっていた研修会を、4年ぶりに事務局を含む20名の参加で開催した。

平沢保治さんの語り部映像は2017年に撮られた映像で、既に90歳を幾つか超えていた平沢さんの強い思い、言葉に圧倒されるものがあった。現在平沢さんをご高齢により語り部だけではなく講演も行うことができない状態であることから、今ある語り部映像を保存し、後世に語り継いでいく必要があると考える。



## 研修会参加者の声

- 1 ハンセン病についてや、これまで現在の状況について詳しく学ぶことができとても勉強になりました。以前から伺ってみたいと思っていた資料館に行くことができ良い機会でした。人権問題について今後も様々なことを学び、周りの人たちや生徒に、正しいことを伝えられる教員になりたいです。  
 （中学校教員）
- 2 このハンセン病に関わる国の悲しい歴史は、東京を研修会場にしてでも多くの人を知っておく必要のある大切な内容であると感じました。  
 （高等学校教員）
- 3 恥ずかしながら、ハンセン病についてはあまり詳しく知りませんでした。教員としてこれからの人生を歩んでいく際、この国での重大な出来事を知らなかったと思うと恐ろしくなります。本日の研修は大変勉強になりました。  
 （高等学校教員）
- 4 これまで全く知らなかった歴史でした。人権の問題は誰にでも起こりえると思うので、今から未来を考えていくことが大切と考えます。  
 （市町村職員）

## ぜひお立ち寄りください！

入館料は無料ですが、諸事情により入館を制限する場合がありますので、必ず事前のご確認をお願いいたします。

### 国立ハンセン病資料館

多磨全生園に隣接。ハンセン病の歴史や回復者が生き抜いた証などが展示されています。ハンセン病に関する約30,000冊の図書を収蔵した図書閲覧室もあります。

東京都東村山市青葉町4-1-13 ☎042-396-2909  
 URL <http://www.nhdm.jp/>

### 重監房資料館

かつてハンセン病患者の懲罰施設として使われた通称「重監房」。今は建物の基礎しか残っていませんが、資料や発掘調査の出土遺物などから実寸大で再現し、その過酷さを体感できるように展示しています。ガイダンスや証言ビデオの映像がみられるほか実物資料を展示したコーナーなどがあります。

群馬県吾妻郡草津町草津白根464-1533 ☎0279-88-1550  
 URL <http://www.nhdm.jp/sjpm/>

### 栗生楽泉園社会交流会館

かつて草津町にあったハンセン病患者の居住地区の歴史や栗生楽泉園開園後の歴史とそこに暮らすハンセン病患者の生活の様子を中心に資料の展示がされています。

群馬県吾妻郡草津町草津乙647 ☎0279-88-5999

# 令和5年度 茨城県藤楓協会事業のあらまし

## 1 普及・啓発

- (1) 「ハンセン病についての研修会」
  - ・ 令和5年8月25日(金) 国立ハンセン病資料館にて開催
- (2) 茨城県庁での広報：県庁2階県政広報コーナー
  - 期間：令和5年8月4日(金)～令和5年8月15日(火) (12日間)
- (3) 茨城県ホームページへの情報提供：茨城県ホームページに「ハンセン病に関する事」掲示
- (4) 保健医療部公式Xによる情報発信
  - ・ 令和5年6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に情報を発信
  - ・ 令和5年8月5日：県庁でのパネル展の情報を発信
  - ・ 令和5年9月7日：ハンセン病を考える研修会
  - ・ 令和5年12月5日：大洗町においてハンセン病パネル展
- (5) 県立歴史館の活用：県立歴史館1階展示コーナーにてパネル展示を実施
  - 期間：令和5年6月6日(火)～令和5年7月27日(木) (52日間)
- (6) 大洗町公民館展示コーナーの活用：2階展示コーナーにてパネル展を実施
  - 期間：令和5年12月5日(火)～令和5年12月17日(日) (13日間)



4

## 2 入所者への支援・交流事業

- (1) 県藤楓協会役員による療養所への慰問
  - 10月19日(木) 草津栗生楽泉園への慰問を実施しました。
  - 他の療養所へは慰問の代替として郷土の特産品を贈呈しました。
- (2) 入所者への見舞品等の贈呈
  - ・ 郷土物産品・見舞金の贈呈・郷土の広報誌「ひばり」の提供
  - ・ 茨城新聞の提供 (提供：茨城新聞文化福祉事業団)

※慰問を希望する団体への助成も行っています。

パネル展示で使用した写真  
パネルの無料貸出を行って  
おります。茨城県藤楓協会事務  
局までお問合せください。  
TEL: 029-301-3220  
月～金(9:00～17:00)

## 3 発刊事業

ハンセン病についての理解を深める機関紙の作成配布

※主な配布先 官公庁・小中高等学校・市町村・  
医療機関・企業・個人等

内 容：機関紙「藤楓いはらき68号」

発行日：令和5年8月1日

発行部数：3,500部

## 4 募金事業

募金収益：1,303,167円

自主財源を確保するため、発刊事業と併せて  
募金事業を実施しています。

### 主な歳入歳出決算

	内 容	金 額 (単位：千円)
歳 入	募金	1,303
	県補助金	0
	繰越金	6,812
歳 出	普及・啓発	120
	支援・交流	455
	発刊	40
	事務費 (含人件費)	916

## 協会活動のご案内

大正天皇の皇后であられた貞明皇后は、ハンセン病を病む方々にお心を痛められ、昭和6年（財）籟予防協会を設立されました。同協会は、昭和27年にお子である高松宮殿下を総裁として（財）藤楓協会へ改組され、ハンセン病支援・啓発活動を行いました。同協会は平成15年3月31日付けで解散しましたが、その事業は（福）ふれあい福祉協会によって継承されています。

茨城県藤楓協会は、昭和29年、当時県庁売店の店主であった故高橋さん氏提唱の元、県民有志によりハンセン病支援の全国団体である（財）藤楓協会の県支部として設立されました。

活動の目的は「ハンセン病の正しい知識の普及と療養所入所者の慰問などの援護支援」であり、会長を茨城県知事が務め、事務局は茨城県保健医療部疾病対策課内に置かれています。

### 茨城県藤楓協会役員名簿

《理事・監事》

（令和6年8月現在）

役職	氏名	所属団体・役職名	
会長	大井川 和彦	茨城県知事	
副会長	竹之内 章代	茨城県社会福祉協議会会長	
	丸山 慧	茨城県保健医療部長	
常務理事	武村 知己	茨城県保健医療部 疾病対策課長	
理事	櫻井 よう子	茨城県女性団体連絡会会長	
	川上 ヒロ子	茨城県女性団体連絡会副会長	
	亀井 比志子	茨城県女性団体連絡会副会長	
	小田部 卓	茨城新聞文化福祉事業団理事長	
	大芝 静香	茨城県学校長会会長	
	渡邊 剛	茨城県高等学校長協会会長	
	堀江 英夫	茨城県市長会・茨城県町村会 常務理事兼事務局長	
	松崎 信夫	茨城県医師会会長	
	入江 ふじこ	茨城県保健所長会会長	
	潮田 勝利	茨城県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	
	監事	水柿 一俊	茨城県議会議員
		池元 和典	日本赤十字社茨城県支部事務局長

《評議員：茨城県女性団体連絡会理事》

氏名	所属団体・役職名
林 由香里	水戸市地域女性団体連絡会会長
池田 瑞江	笠間市地域女性団体連絡会会長
松本 栄子	小美玉市女性団体連絡協議会会長
新保 洋子	北茨城市地域女性団体連絡会会長
大久保 礼子	取手市地域女性団体連絡会会長
滝田 国子	土浦市地域婦人団体連絡協議会会長
相馬 てる子	かすみがうら市地域女性団体連絡会会長
武藤 智子	常総市地域女性団体連絡会会長
後藤 すい子	筑西市地域女性団体連絡会会長
菅谷 京子	行方市地域女性団体連絡会会長
大槻 たみ子	鉾田市地域女性団体連絡会会長
眞中 ミヨ子	鹿嶋市地域女性団体連絡会会長

### 全国のハンセン病療養所と本県出身者数

（令和5年5月現在）

施設名	所在県	入所者数	本県出身者数
<国立療養所>			
松丘保養園	青森県	41	—
東北新生園	宮城県	26	1
栗生楽泉園	群馬県	32	2
多磨全生園	東京都	94	4
駿河療養所	静岡県	36	1
長島愛生園	岡山県	83	—
邑久光明園	岡山県	55	—
大島青松園	香川県	30	—
菊池恵楓園	熊本県	127	—
星塚敬愛園	鹿児島県	59	—
奄美和光園	鹿児島県	11	—
沖縄愛楽園	沖縄県	89	—
宮古南静園	沖縄県	35	—
<私立療養所>			
神山復生病院	静岡県	2	—
合計		720	8



とうふう  
藤楓の名は、貞明皇后の宮中での  
お印が「藤」であり、また昭憲皇太后（明治天皇の皇后）のお印の若葉にちなんで実生の「楓」を各療養所にご下賜されたことで命名されたものです。

## 温かいお心遣いをありがとうございました

茨城県藤楓協会が令和5年度に実施したハンセン病募金は、1,303千円の募金をお預かりしております。温かいご支援に対する感謝の意を表するため、ご寄付をいただき皆様方のお名前を掲載させていただきます。なお、紙面の都合上、順不同・敬称略とさせていただきますのでご容赦ください。今後とも、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

### 1 女性団体連絡会等関係の皆さま

1北茨城市地域女性団体連絡会 2小美玉市女性団体連絡協議会 3桜川市女性団体連絡会 4取手市地域女性団体連絡会 5八千代町女性団体連絡会 6常総市地域女性団体連絡会 7龍ヶ崎地域女性団体連絡協議会 8鉾田市地域女性団体連絡会 9行方市地域女性団体連絡会 10筑西市地域女性団体連絡会 11かすみがうら市地域女性団体連絡会 12土浦市地域婦人団体連絡協議会 13水戸市地域女性団体連絡会

### 2 企業の皆さま

1日立土木株式会社 2水戸ヤクルト販売株式会社 3鹿島埠頭株式会社 4小野瀬公認会計事務所 5斎藤商事株式会社 6株式会社ニコン 7コロナ電気株式会社 8関彰商事株式会社 9根本明人税理士事務所 10日東電気株式会社

### 3 各種団体の皆さま

1（公社）茨城県獣医師会 2大津漁業協同組合 3（一社）茨城県消防設備協会 4茨城県土地開発公社 5（一財）茨城県建設技術公社県南支部 6（一社）茨城県観光物産協会 7茨城県高等学校長協会 8茨城県美容業生活衛生同業組合 9（社福）茨城県社会福祉協議会 10土浦市外十五ヶ町村土地改良区 11茨城県学校長会 12（一社）茨城県労働者福祉協議会 13（公財）茨城県栽培漁業協会 14茨城県労災保険指定医協会 15（公社）茨城県柔道整復師会 16茨城県市長会・茨城県町村会 17（公社）茨城県食品衛生協会 18（一財）茨城県環境保全事業団 19茨城県堀原運動公園 20（公財）茨城県薬剤師会 21（一財）茨城県建築センター 22（一社）茨城県病院薬剤師会 23茨城県市町村職員共済組合 24茨城県信用保証協会 25（社福）茨城県共同募金会 26（公社）茨城県農林振興公社 27茨

城県住宅管理センター 28（一財）茨城県社会保険協会 29筑西市関城地区民生委員児童委員協議会 30（公財）茨城新聞文化福祉事業団

### 4 個人篤志の皆さま

1軍司文男 2羽生健志 3石川研二 4石川和明

### 5 医療関係の皆さま

1金塚医院 2菊地内科医院 3渡辺内科 4（医）昂仁会ハタミクリニク 5（医）小川医院 6前田病院 7菊池内科クリニック 8神谷医院 9（医）石渡産婦人科病院 10川島医院 11（医）おおたしろクリニック 12いたけ内科クリニック 飯竹一広 13（医）グルコピア日立 14仁保内科医院 15水戸赤十字病院 16（医）TCC友部セントラルクリニック 17大曾根内科小児科 18（医）河上医院 19内田耳鼻咽喉科 20茨城西南医療センター病院 21（医）坂本内科医院 22天満胃腸科クリニック 23中岫産婦人科医院 24（医）誠之会 25（医）博仁会志村大宮病院 26（医）青々会松葉産婦人科 27（医）真聖会落合医院 28（医）日立渚会

### 6 福祉施設関係の皆さま

1（一財）安寿苑 2特別養護老人ホーム静霞園 3（医）昂仁会介護老人保健施設ゆず 4（福）泰仁会特別養護老人ホームやさと 5（福）聖隷会晴風園 6（社福）ふたば会 7（福）鳳凰会特別養護老人ホームフォレストヴィアラ水戸 8（社福）清河会サングリーンピア 9（社福）常新会特別養護老人ホームシルトピア 10岩井企画自立支援センターきぼう

### 7 学校関係の皆さま

1茨城県立中央看護専門学校 2古河市立古河第七小学校 3

令和6年8月1日発行

常陸大宮市立美和小学校 4茨城県立医療大学 講師一同  
5北茨城市立関南小学校

## 8 官公庁の皆さま

【国】1日本年金機構 水戸年金事務所 2日本原子力研究開発機構 3日本年金機構 土浦年金事務所 4国立茨城大学 5日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 6日本原子力研究開発機構大洗研究所

【茨城県警察本部】1警務部会計課 2交通部交通総務課 3警務部厚生課 4警務部県民安心センター 5警務部情報管理課 6生活安全部安全総務課 7交通部高速道路交通警察隊 8交通部交通機動隊 9警務部警務課

### 【茨城県庁】

【総務部】1自転車競技事務所 2秘書課 3報道・広聴課 4常陸太田県税事務所 5水戸県税事務所 6鹿行県民センター県民福祉課 7税務課 8県北県民センター 9総務事務センター 10管財課 11自治研修所 12行政経営課 13財政課 14市町村課 15県西県民センター 16人事課 18総務課 17行方県税事務所 18県南県民センター

【政策企画部】1政策調整課 2県北振興局 3情報システム課 4計画推進課 5交通政策課 6統計課 7地域振興課 8水政課

【県民生活環境部】1環境対策課 2スポーツ推進課 3生活文化課 4霞ヶ浦環境科学センター 5女性活躍・県民協働課 6原子力安全対策課 7資源循環推進課 8廃棄物規制課

【防災・危機管理部】1消防安全課 2防災・危機管理課

【保健医療部】1筑西保健所 2感染症対策課 3生活衛生課 4健康推進課 5県北食肉衛生検査所 6ひたちなか保健所 7竜ヶ崎保健所 8県西食肉衛生検査所 9医療局医療政策課 10県南食肉衛生検査所 11潮来保健所 12衛生検査所 13中央保健所 14日立保健所 15土浦保健所 16動物指導センター

【福祉部】1障害福祉課 2長寿福祉課 3子ども政策局少子化対策課 4子ども政策局子ども未来課 5福祉政策課 6精神保健福祉センター

【営業戦略部】1国際観光課 2営業企画課 3空港対策課 4労働政策課

【産業戦略部】1産業人材育成課 2労働政策課産業技術短期大学校 3労働政策課産業技術短期大学校併設水戸産業技術専門学院 4中小企業課 5科学技術振興課 6技術革新課 7県立日立産業技術専門学院 8県立筑西産業技術専門学院 9県立土浦産業技術専門学院 10産業政策課 11鹿島技術専門学院

【農林水産部】1県西家畜保健衛生所 2漁政課 3農地局農地整備課 4産地振興課 5農業政策課 6林政課 7農地局農地計画課 8農地局県南家畜保健衛生所 9農地局林業技術センター 10林業課 11畜産センター 12鹿行農林事務所 13県央農林事務所 14農業経営課 15畜産課 16水産振興課 17県西農林事務所 18農業技術課 19県北農林事務所 20県南農林事務所 21農地局鹿行家畜保健衛生所 22農業総合センター 23農業大学校

【土木部】1検査指導課 2道路建設課 3茨城港湾事務所 4営繕課 5港湾課 6水道課 7都市整備課 8河川課 9高萩工事事務所 10常陸大宮土木事務所 11都市局住宅課 12監理課 13筑西土木事務所 14用地課 15都市局都市計画課 16常陸太田工事事務所 17流域下水道事務所 18竜ヶ崎工事事務所 19建築指導課 20鹿島港湾事務所 21道路維持課 22鹿島下水道事務所 23鉾田工事事務所 24土浦土木事務所 25境工事事務所

【立地推進部】1立地推進課

【会計事務局】1会計管理課

【各種行政委員会等】1人事委員会事務局 2監査委員事務局 3労働委員会事務局

【企業局】1県中央水道事務所 2鹿行水道事務所 3県西水道事務所 4水質管理センター

【病院局】1経営管理課 2茨城県立中央病院 3こころの医療センター

【教育庁】1学校教育部保健体育課 2総務企画部文化課 3特別支援教育課 4生涯学習課むつみ会

【議会】1議会事務局

【市町村】1大洗町役場 2石岡市役所

## ハンセン病について知ってください

### ハンセン病ってどんな病気？

ハンセン病は「らい菌」による感染症です。

感染すると、手足などの末しょう神経がマヒし、痛い、熱い、冷たいといった感覚がなくなったり、汗がでなくなったりします。皮膚も侵されてさまざまな症状が現れます。

現在は治療法が確立され、早期発見と適切な治療で治すことができる病気です。感染力も弱く、隔離の必要は全くありません。

### ハンセン病と隔離政策

治療法がなかった時代には、本人のみならず家族までも差別と偏見の対象とされてしまいました。昭和6年（1931年）に「らい予防法」が成立し、各県では「無らい県運動」の名のもとに患者を見つけ出し、療養所に送り込む施策が行われました。

「らい予防法」は平成8年（1996年）にようやく廃止され、長い間続いた患者隔離政策に終止符が打たれました。

### ハンセン病と人権問題について

平成10年（1998年）には、入所者らによって熊本地裁に国のハンセン病政策の転換が遅れたことなどの責任を問う「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」が提起され、平成13年（2001年）原告勝訴の判決が下されました。国は入所者たちにおわびし、入所者や社会復帰者たちの名誉回復、社会復帰支援及びハンセン病問題の啓発活動等に取り組んでいます。

それでもなお入所者や社会復帰者、その家族に対する偏見や差別は今でも根強く残っています。療養所を出ても故郷に帰れず、肉親との再会を果たせない人もいます。ハンセン病に対する偏見や差別をなくすために、ハンセン病について正しい知識を持ちましょう。

8

## ハンセン病募金にご協力お願いします

茨城県藤楓協会は、皆さまからの募金を下記口座にて通年受け付けております。

常陽銀行 県庁支店 普通 口座番号0453637

口座名 茨城県藤楓協会（イバラキセントウフウキョウカイ）

※常陽銀行本・支店ATMからのお振込みは、手数料が無料です。是非ご利用ください。

ただし、硬貨でのお振込み時には枚数の制限がありますので、ご注意ください。

窓口での払込みは有料です。

また時間外手数料、他の銀行カードご利用手数料等は、無料となりません。

※領収書が必要な方は、茨城県藤楓協会までご連絡ください。

※募金いただいた方のお名前を機関紙に掲載させていただきます。掲載名称等に指定がある場合は、ご連絡ください。

